



# びぶいお定期便



皆さん、明けましておめでとうございます。  
さて、今年が平成30年という節目の年を迎えます。図書館では、入り口すぐにある「びぶくあっぷコーナー」にて平成生まれの作家の本や、流行が載っている本を展示します。もちろん貸出もできますよ。期間は1月5日～1月24日です。皆さんが生まれた平成は一体どんな時代だったのでしょうか。ちょっと興味がわいてきませんか？

## 恵那市中央図書館 ジュニアコーナー 11月の新着本紹介

書名	著者名	出版者	請求記号
食べるってどんなこと?	古沢広祐/著	平凡社	K498/7/
吹部ノート 3	オザワ部長/著	ベストセラーズ	764.6/オ/3
利き蜜師物語 3	小林栗奈/著	産業編集センター	913.6/コ/3
アポロンと5つの神託	リック・リオードン/著	ほるぷ出版	K933/リ/1

## 今月のイチオシ!

### 今月のおすすめ びぶりお本

『島はぼくらと』  
辻村深月/著 913.6/ツ 講談社  
ジュニアコーナー

過疎化が進む瀬戸内海の小さな島、冴島。そこで暮らす4人の高校生の卒業までの一年を描いた物語です。その4人を中心に、様々な事情を抱えて移住してくる若者たちと島の人たちの人間ドラマが大きな見所です。島を背負って生きていく大人たちの覚悟を見て、4人はそれぞれ故郷を巣立つ前に大切なことを学んでいきます。

作者は青春ミステリー作家として有名で、なかなか明かされなかった謎が終盤で巧みに回収されていきます。謎が解けた時に迎える感動のラストをぜひ、自分の目で確かめてみてください。

### 恵那南高等学校

恵那南高校では平成28年度から本校の「魅力化プロジェクト」の活動の一環として、恵那市・恵那川上屋と提携し、社会人、職業人としての人材力アップと恵那市の地域経済への貢献を目指しています。恵那市大井町の森川圃場(栗の木約280本)を利用し、1次(農業)2次(加工)3次(販売)=6次産業の実践を通して、地域資源を有効活用しています。昨年度は1年次生が皮をむき、2年次生がシロップで煮て甘露煮を作り、ビンに詰めて商品化しました。今年度は消費者の求める商品を目指して、新たに「栗かの子」を考案し、10月末には3年次生が販売をしました。恵那南高校の図書館ではこのプロジェクトの過程で必要な知識を得るための、栗の専門書やマーケティングの本、デザインの実用書などを集めた6次産業コーナーを設け、調べ学習をしやすいよう環境を整えています。



### 恵那特別支援学校

12月16日(土)に中津高等学校吹奏楽部と中津川市民吹奏楽団、恵那南高等学校吹奏学部をお招きして、ウインターコンサートを行いました。ウインターコンサートは今年で17年目を迎えました。毎年本当に素晴らしい演奏をしてくださっています。今年は、総勢100人近い大吹奏楽団によって、「やってみよう」「HANABI」等の流行曲や、児童生徒が大好きな「妖怪体操第一」や「夢をかなえてドラえもん」、「ジブリメドレー」等を演奏していただきました。児童生徒は、「かっこいい!」とあって、楽しそうに音楽を聴いたり、口ずさんだりしていました。迫力満点の音楽に合わせて手遊び歌も行い、児童生徒はとても楽しそうに、歌ったり手拍子をしたりしていました。参加していただいた保護者の方や地域の方々もありがとうございました。また来年開催された際には、多くの方にご参加いただきたいと思います。



### 恵那農業高等学校

寒い日が続いていますが、もうすぐ冬休みですね。今年一年を振り返って最も世相を反映していると思われる漢字一文字が発表されました。今年「北」だそうです。北朝鮮の脅威にさらされた一年だったということでしょうか? あなたの一年は漢字で表すと何という漢字になるのでしょうか?

#### オススメの一冊

「ホットロード」 1~3 紡木 たく著

私がお勧めするのは「ホットロード」です。この物語は湘南を舞台に主人公の17歳の少女「かずき」がナイツという暴走族グループの組長(次期)の春山にどんでんひかれていく青春ラブストーリーです。

この本を読んだ時すごく切なさの中に思いやりがあり、強さの中に優しさがある素敵な恋愛だと思いました。

かずきと春山だからこそそのストーリーだと思います。感動ラブストーリーになっているので是非手に取って読んでみてください。映画化もされているので映画も是非観てください。

環境科学科 2年生 図書委員

### 恵那高等学校

新年あけましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願いたします。恵那高校図書委員会では1月の取り組みとして貸出キャンペーンを行い、恵那校生に昨年よりも多くの本を借りてもらえるよう頑張っていきます。

ここで私のおすすめの本を紹介いたします。私のおすすめの本は『365日世界一周絶景の旅』です。この本には世界の絶景スポット365カ所の写真と説明文が書かれていて、読むだけでまるでその場所にいるかのような気分になります。日本の絶景スポットも15カ所紹介されており、もしかしたら皆さんも訪れたことのあるスポットが紹介されているかもしれません。写真を見るだけでも満足感の得られる本なので、ぜひ読んでみてください。

『365日世界一周絶景の旅』

TABIPPO/編

いろは出版